

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
小林市	小林市	平成 3 0 年度～令和 4 年度	平成 3 0 年度～令和 4 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 29 年度)	目 標 (令和 4 年度) A	実 績 (令和 4 年度) B	実績 / 目標 ※ 3
総人口	46,071 人	43,900 人	43,147 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	7,954 人	9,262 人	57.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	17.3%	21.1%	76.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	人	人	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	18,393 人	19,673 人	71.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	39.9%	44.8%	98.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	人	人	%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道に関する目標未達の要因は、計画当初、令和 2 年度完成予定としていた区域整備が事業費や工事の遅れなどにより進まず、令和 5 年度に見直しされたことや区域内において一定数いる未接続者の解消が進まなかったことである。

合併処理浄化槽等に関する目標未達の要因は、計画当初、補助の対象としていた新設分について、要綱の見直しに伴い令和 2 年度より補助の対象外としたことで、計画を大幅に下回る実績となったことである。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 9 年度まで

公共下水道については、令和 5 年度から令和 9 年度の間集落排水施設の一部が接続され、汚水衛生処理人口などが大幅に変動する予定である。したがって、目標は令和 5 年度から令和 9 年度までの地域計画として提出済みのものとし、達成のための方策は、下水道整備の完了及び区域内において一定数いる未接続者の解消を継続して行うこととする。

合併処理浄化槽等についても同様の目標へ向け、達成のための方策は、地域計画に沿った補助事業を行うこととする。

(都道府県知事の所見)

今回の実績報告を踏まえた新たな地域計画のもと、目標達成のために、単独処理浄化槽やくみ取り槽からの転換をより一層進める必要があります。

令和 5 年度からは、県補助金の単独処理浄化槽からの転換に伴う撤去費の補助基準額を循環型社会形成推進交付金と同等の 120 千円としましたので、住民への啓発等を実施するとともにこれらの補助制度を有効に御活用いただき、さらなる未処理解消に取り組んでいただくようお願いします。